



2023年4月21日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
代表者名 代表取締役社長 小塚 英一郎
(コード番号 7719 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理担当 石見 紀生
(TEL. 042-851-6027)

業務提携契約締結に関するお知らせ

～ 理研発ベンチャー、株式会社先端力学シミュレーション研究所と提携 ～

当社は、1923年に試験機の製造・販売を祖業としてスタートし、本年3月20日の創業100周年を節目に新たなステージを目指すべく、グループ一丸となって持続的な成長への取組みを進めております。

こうした中で、当社は、当社グループの主力事業である試験機事業のさらなる磨き上げを目的として、CAE^{*1}ソフトウェアの開発およびその受託解析・開発業務を行っている理研^{*2}発ベンチャー企業、株式会社先端力学シミュレーション研究所（以下「ASTOM R&D社」といいます。）と業務提携契約を締結することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

^{*1} CAE(Computer Aided Engineering)：コンピューターを利用した製品の設計・製造の事前検討などといったエンジニアリング作業のことをいいます。これによって試作や試験のコスト削減や時間の削減が可能となります。

^{*2} 国立研究開発法人理化学研究所の略称

記

1. 業務提携の理由

近年、デジタル技術を活用し、現実空間の情報を取得してサイバー（仮想）空間の環境を再現するデジタルツインが注目されておりますが、これによってサイバー空間上で現実空間を把握、分析、シミュレーションを行い、その結果を現実空間にフィードバックさせ、これにより業務の効率化や付加価値の向上に活かすことが実現可能となってきております。

当社グループの主力事業である試験機事業は、自動車、船舶、航空機等の性能や安全性の評価、線路や橋脚の耐久性の確認等を行う試験・計測機器の製造・販売を行う事業であります。現実空間である試験機事業の成長を推進していくためには、サイバー空間を組み込んだ事業への移行が不可欠であり、それには戦略上、他社との協業が必要であると考えておりました。

こうした中で、当社は、ASTOM R&D社と協業に関する議論を重ねてきた結果、当社の戦略上の理念と合致したため、同社と業務提携をすることといたしました。

2. 業務提携の内容

当社とASTOM R&D社は、当社の現実空間の試験機の製造・販売と同社のサイバー空間のCAEソフトウェア開発というお互いの強みを活かし、顧客ニーズに応えるべく業務提携を行い、新規の収益機会の創出や事業の開発を行い、両社の売上・利益の拡大を図っていきます。

なお、今後の具体的な事業展開の内容については、両社協議の上で検討していく予定です。

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社先端力学シミュレーション研究所 (略称：ASTOM R&D)	
(2) 所 在 地	東京都文京区小石川五丁目 5 番 5 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 常木優克 代表取締役社長 池田 貴	
(4) 事 業 内 容	CAE ソフトウェアの開発及び受託解析、受託開発等	
(5) 資 本 金	9,984 万円	
(6) 設 立 年 月 日	1999 年 4 月 2 日	
(7) 大 株 主	ASTOM R&D 社の役員他	
(8) 当社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

4. ASTOM R&D 社の技術・事業展開

ASTOM R&D 社は、1999 年に理研ベンチャー制度のもと、理研研究者が研究成果である構造解析用ソフトウェアを市場に送り出すために設立した会社であり、現在では特に、金属プレス成形や樹脂射出成形などの成形加工技術や溶接などの接合技術など「ものづくり分野における製造プロセス」を対象としたシミュレーション技術や IoT・AI 技術を中核として、顧客のニーズに基づく技術支援を核にした事業戦略を展開しています。さらには、東日本大震災後の安全安心社会へ向けた原子力安全解析分野、脱炭素社会の実現へ向けた新エネルギー分野などへの取組みも進めています。

5. 日程

取締役会決議日 2023 年 4 月 21 日

契約締結日 2023 年 4 月 21 日 (予定)

6. 今後の見通し

上記の業務提携契約締結による 2024 年 2 月期の連結業績への影響等につきましては、具体的な見通しが固まり次第お知らせいたします。

以 上